

## 20231119 運輸労連神奈川県連クリーンキャンペーン

19日、東神トラックステーションにて、施設内及び周辺道路の清掃活動を行いました。  
今回までは県央地区連絡協議会が主体となり活動してきましたが、県連執行部10名、地区連絡協議会10名にて清掃活動を行いました。  
県連組織部、今井委員長よりあいさつがされ、高橋事務局長より注意事項と作業個所の振り分けがされスタート！

東神トラックステーション内には、空きスペースはあるもののトラック80台以上はいるのでは？  
トラックとトラックの間を注意深く進み草むらへ。一時前よりは、毎日、清掃の方が入っているためにゴミは少ないが、コンビニ袋に色々なものを一色単にしてポイ捨てしているために分別作業に時間がかかる。爆弾と呼ばれているペットボトルも10本以上を回収。また、施設の周りの歩道についても、たばこの吸い殻があちらこちらにポイ捨てしている。ルールを守ってほしい。  
この施設はあって当たり前ではなく、維持運営にも大変な金額がかかっている。無くなったら大変な施設だ。日頃からの感謝を込めて清掃活動をさせていただきました。  
本日参加の皆様お疲れ様でした。





### 行動者の感想

この活動も初めての参加となり、周りの方達に話を聞きながらの作業となりました。

昨日までの強風はおさまり穏やかな天候に恵まれ作業しやすかったです。

回収物の中で目立った物はタバコの吸い殻と中身の入ったペットボトル！でした。タバコは風で飛ばされた感じでは無く、灰皿をひっくり返し捨てた感があり寂しく感じました。あと、中身入りペットボトル(通称、爆弾)トイレから遠い駐車場に多く捨てられている感があり、緊急事態だったのかも知れないが最後まで自分で処理しろよって感じでした。

「昔と比べるとゴミがかなり減ったんだよ」との話を聞き、ゴミがゴミを呼んでしまう事もあり「クリーンキャンペーン」の地道な活動が少しずつ形になってきているんだなぁと感じました。

あと、246号線金田の信号の周辺に小学生が書いたポイ捨てをやめよう！とポスターが何枚もはられています。ポイ捨てが無くならない現状、トラックドライバーだけではなく、社会的なマナー向上が必要であり子供に見られて恥ずかしく無い行動を取りたいと思いましたし、啓蒙活動をして行ければと思いました。

中島 直樹(日通川崎運輸労働組合)

東神トラステには何度も行きましたが、いつも天気が良くなかったけど、今回は、風も無く、すごく良い天気の中のクリーンキャンペーンでした。以前に比べてゴミの量は減っているように思えました。が、中身の入ったペットボトルが気になりました。

桐生 武志(ヤマト運輸労働組合厚木支部)

久しぶりにトラックステーションの清掃活動に参加させていただきました。天気も良く思った程ゴミも少なく感じました。また参加したいと思います。

木村 浩平(ヤマト運輸労働組合厚木支部)

神奈川県連、第1回クリーンキャンペーンで東神トラックステーションに行きました。  
今朝は寒くトラックでの仮眠はアイドリングストップ！とはいかずカーテンの閉まっているトラックはエンジンがついていました。  
安全を優先するなら睡眠は大切だと思いました。  
改善はされていますが、まだまだ環境の見直しは必要だと感じました。

岡村 紀子（ヤマト運輸労働組合厚木支部）

クリーンキャンペーン参加は数年ぶりでした。以前、参加時に比べたらゴミの量は激減していましたが敷地内の雑草の管理をすればもっと良い設備になるし、ゴミを捨てる人も減るのでは無いかと感じました。また、参加出来る機会があれば参加させていただきたいと思います。

大野 達也（ヤマト運輸労働組合厚木支部）

久しぶりにクリーンキャンペーンに参加しましたが、前回に比べたらゴミの量は少なく感じました。ただ草木が生い茂っていたので、見えなかったからかもしれません。  
トラックドライバーにとって、トラックステーションは、必要な場所であると思うので、このような場所をなくさないためにも利用者のマナーの向上を訴えていくことも必要だと思いました。

森田 智充（ヤマト運輸労働組合厚木支部）

個人的には2回目の東神トラックステーションクリーンキャンペーンでした。  
前回に引き続き気になったのは、ポイ捨てされたのタバコの吸い殻の多さでした。  
これが雨で流れて川に至り いずれ海を汚す事になります。喫煙者のマナー向上を訴える必要を強く感じました。

小山 哲司（ヤマト運輸労働組合厚木支部）